

個人投資家向け WEB説明会

2024年3月9日

40th

JFE システムズ 株式会社



はたらくをスマートに。はたらく人にスマイルを。



目次

1

第3四半期決算・年度見通しの概況

P3

2

当社の事業概要

P9

3

トピックス(サステナビリティ・40周年記念事業)

P14

4

株式関連情報 他

P29

目次

1

第3四半期決算・年度見通しの概況

P3

2

当社の事業概要

P9

3

トピックス(サステナビリティ・40周年記念事業)

P14

4

株式関連情報 他

P29

2023年度第3四半期業績（連結：前期比）

- 第2四半期に引き続き、全ての事業部門で売上が伸長。
特に、鉄鋼部門の製鉄所システムリフレッシュの進展が増収に寄与。
- 利益面では、売上高の増加ならびに販売価格の改善等が奏功し、利益の額・率ともに過去最高を更新。

単位：百万円

	2022年度 第3四半期実績	2023年度 第3四半期実績	増 減	
			金 額	率
売上高	41,161	46,452	+5,291	+12.9%
営業利益	4,577	6,044	+1,466	+32.0%
経常利益	4,617	6,088	+1,471	+31.9%
(経常利益率)	11.2%	13.1%	+1.9ポイント	
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,059	4,065	+1,006	+32.9%

2023年度 業績見通し（連結：前期比）

■第2四半期決算にて上方修正した業績見通しを維持。

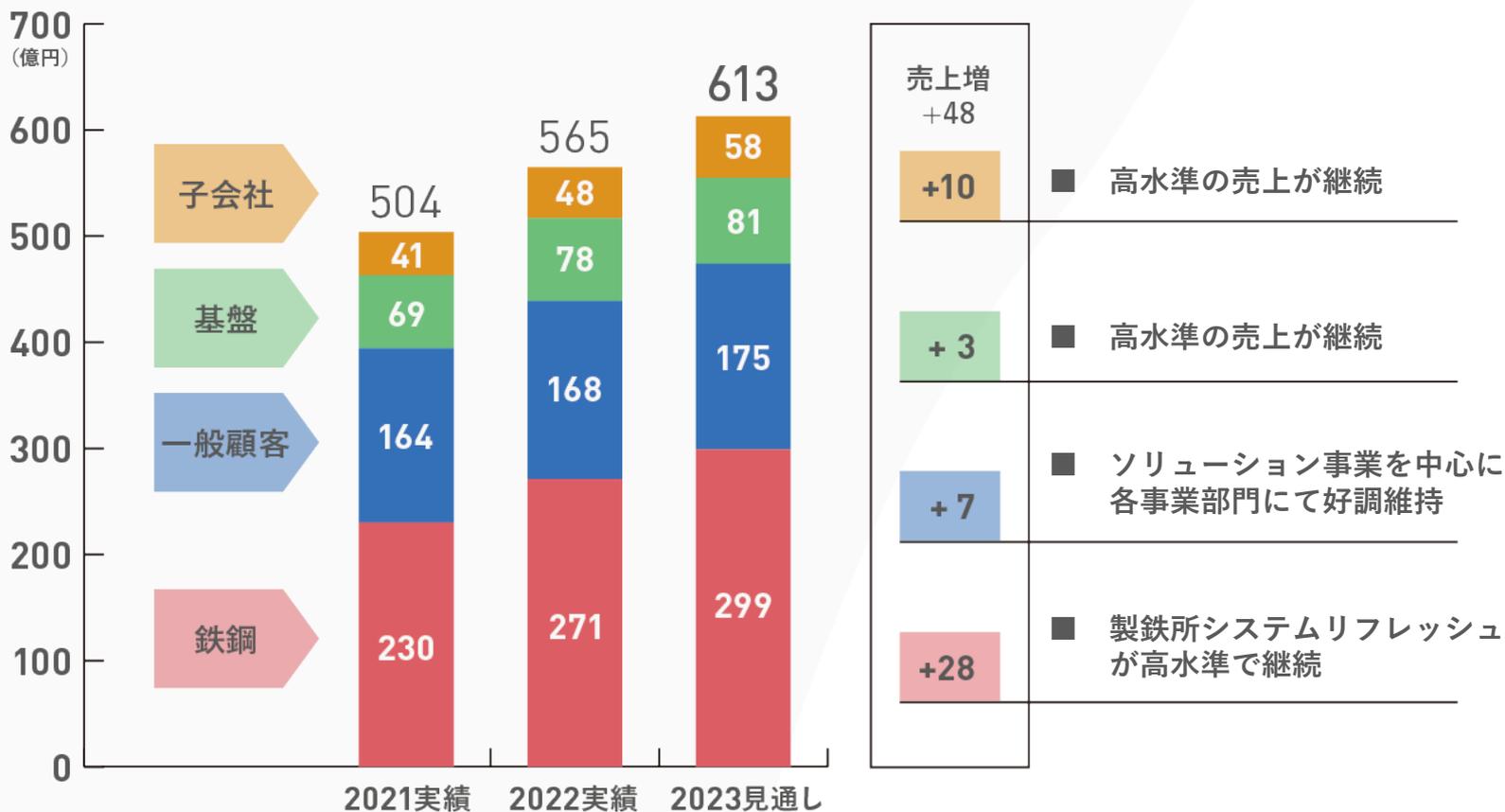
→各事業部門で好調な業績を維持し、前年度比で約1割の増収・増益。
売上高・経常利益・当期純利益ともに過去最高値を更新する見通し

単位：百万円

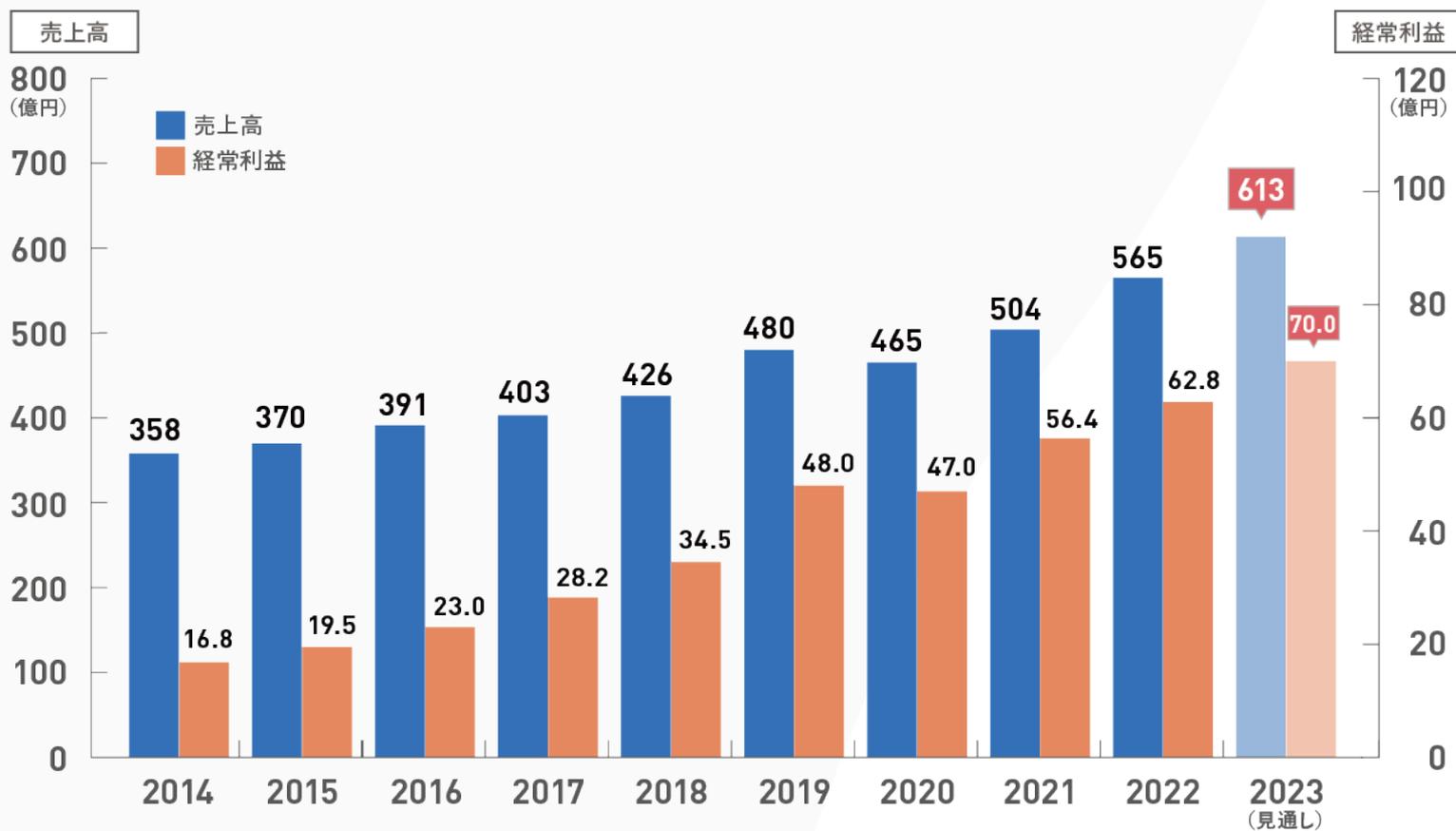
	2022年度 実績	2023年度 見通し	増 減	
			金 額	率
売上高	56,472	61,300	+4,828	+8.5%
営業利益	6,248	6,955	+707	+11.3%
経常利益	6,282	7,000	+718	+11.4%
(経常利益率)	11.1%	11.4%	+0.3ポイント	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,323	4,730	+407	+9.4%

2023年度 事業別売上高見通し（連結）

■製鉄所システムリフレッシュの進展に伴う鉄鋼部門の伸びに加え、ソリューション事業が好調な一般顧客部門を含む全ての部門の売上高が伸長する見通し。



業績推移（連結）

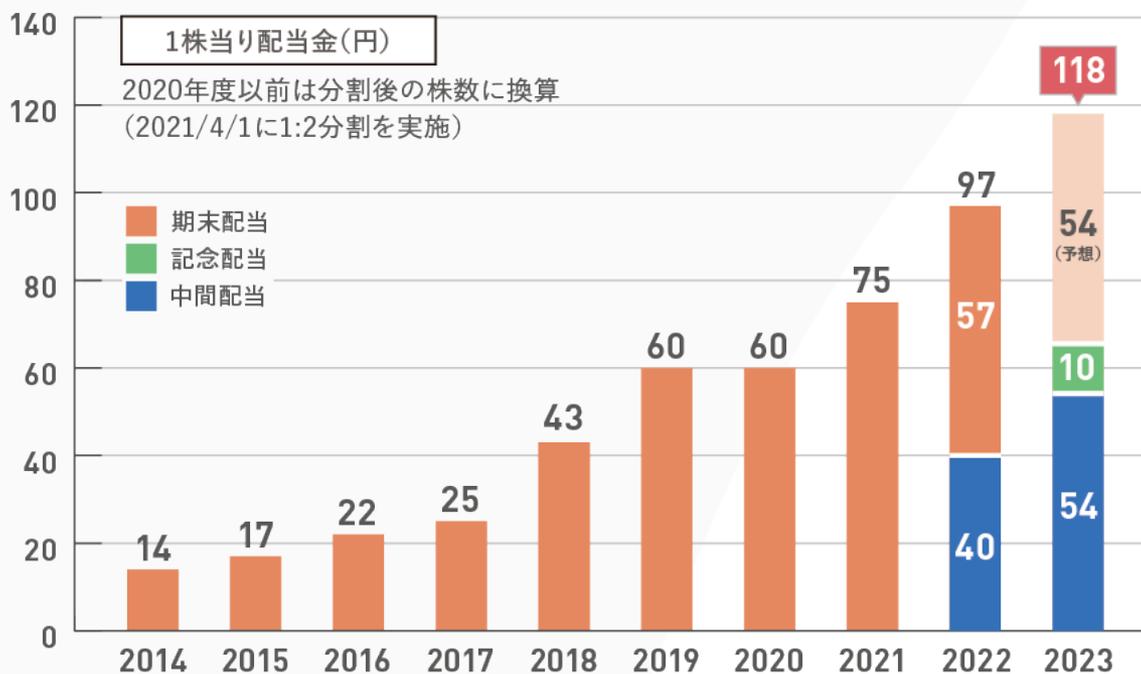


ROS	4.7%	5.3%	5.9%	7.0%	8.1%	10.0%	10.1%	11.2%	11.1%	11.4%
ROE	8.4%	10.6%	10.9%	9.6%	16.3%	19.2%	16.1%	17.1%	17.7%	17.3%

2023年度 配当見通し

■2023年10月26日公表の配当見通しを据え置き。

中間
期末
通期
64円(普通54円 + 記念10円) + 54円 = 118円



配当性向	26%	24%	27%	32%	29%	30%	31%	32%	35%	39%
					30%目処				35%目処	

目次

1 第3四半期決算・年度見通しの概況 P3

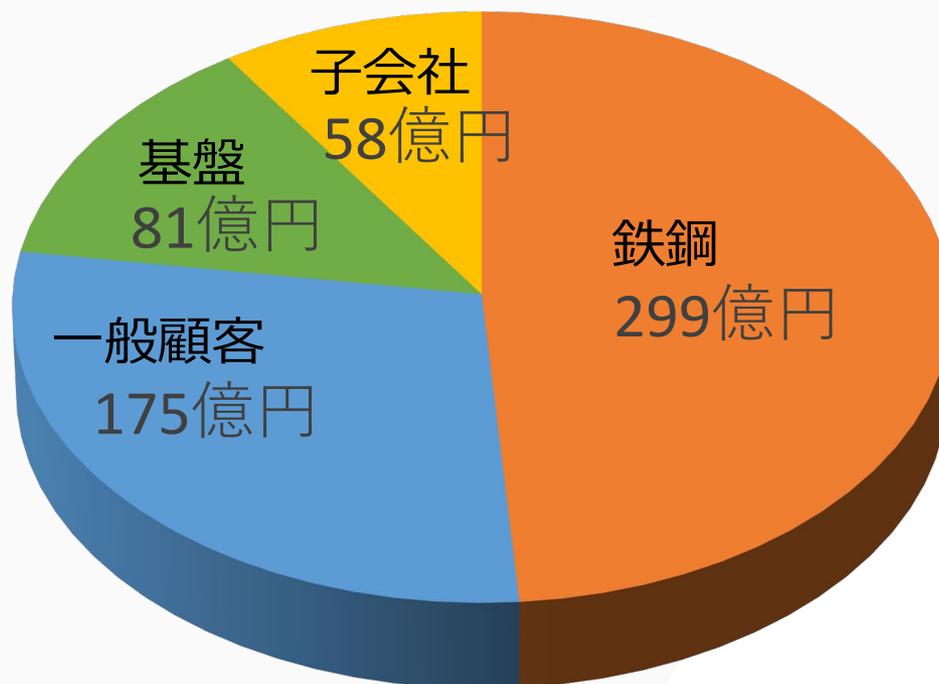
2 当社の事業概要 P9

3 トピックス(サステナビリティ・40周年記念事業) P14

4 株式関連情報 他 P29

当社の事業内容 全体概要

2023年度見通し 連結売上高（事業別内訳）



当社の事業内容 全体概要

基盤事業

ITインフラである“ネットワーク”、“データセンター”の構築・運用、自社ブランドのクラウドサービスと情報セキュリティ（IT/OT）サービス。

子会社
58億円

基盤
81億円

一般顧客
175億円

子会社) JFEコムサービス

ITインフラ、JFEグループ会社向けシステム開発に従事

アイエイエフコンサルティング
BI(*)導入コンサルティングサービス

*=ビジネスインテリジェンス；
経営指標を可視化し意思決定に活用する仕組み

鉄鋼
299億円

一般顧客事業の内訳

ソリューション・プロダクト事業

パッケージ化された製品を単体で導入or複合的に組み合わせシステムを構築

ビジネスシステム事業

豊富な業務知識を基に、製造業等のお客様のニーズに沿ったシステムを構築

関西事業所

関西のお客様のシステム構築

トピックス② 日本マイクロソフト(株)からの受賞

鉄鋼事業の内訳

JFEスチール本社・製鉄所のシステム開発

24h365日稼働するJFEスチールの製鉄所の操業管理を中心としたシステムの構築・改善・維持管理

製鉄所システムリフレッシュ

JFEスチールのDX戦略の根幹である豊富なデータ資産の活用を可能とするための構造改革プロジェクト

トピックス① 製鉄所システムリフレッシュについて

当社の事業内容 トピックス①（製鉄所システムリフレッシュ）

■当社は、JFEスチールのDX推進を支える柱の一つとして、老朽化したレガシーシステム群のオープン化（製鉄所システムリフレッシュ）に貢献。

- 2021年度 本社システムのオープン化プロジェクト
- 2022年度 製造拠点初となる仙台製造所の刷新完了
- 2023年5月 大規模製鉄所における初めてのオープン化完了
（倉敷地区形鋼品種）



※=2023年5月、倉敷地区の形鋼品種領域のオープン化完了

当社の事業内容 トピックス②(日本マイクロソフト(株)からの受賞)

- 2023年6月、当社は日本マイクロソフト株式会社が主催する「マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 2023」において、「**Dynamics 365 Finance アワード**」を受賞しました。
- 「マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー」は、マイクロソフト パートナーネットワークに参加する**1万を超える日本のパートナー企業から、特に優れた実績を築き上げ、お客様からの厚い信頼を獲得したパートナー企業を表彰するアワードプログラム**です。
- 今回の受賞は、自社開発の会計テンプレートである「**SIDEROS®FI TEMPLATE for Microsoft Dynamics 365**」を活用した導入実績を評価いただいたもので、引き続き、**当社は日本マイクロソフト(株)との連携を更に強固なものとするとともに、競合他社に対する優位性を最大限に活用**します。



目次

1 第3四半期決算・年度見通しの概況 P3

2 当社の事業概要 P9

3 トピックス(サステナビリティ・40周年記念事業) P14

4 株式関連情報 他 P29

サステナビリティ

中期経営計画 サステナビリティ (重要課題)

■当社は自社事業を通じたサステナビリティ活動に注力すべく、各課題分野における重要課題（マテリアリティ）を設定し、取り組みを進行中。

課題の分野	重要課題（マテリアリティ）	関連するSDGs 
ITを通じた課題解決 (環境負荷低減を含む) →①	<ul style="list-style-type: none"> ●顧客目線に立った新技術の提案・導入 ●DX・新技術を通じた社会課題の解決 ●JFEグループの環境対策への貢献 ●自社技術を活かした環境保全 	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> </div>
健康経営の実践	<ul style="list-style-type: none"> ●こころとからだの健康の維持 ●働きやすい職場づくり →② 	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>3 すべての人に 健康と福祉を</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>8 働きがいも 経済成長も</p> </div> </div>
多様性の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●Diversity, Equity & Inclusionの実現 ●人材育成の推進 →③ 	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>4 質の高い教育を みんなに</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>10 人や国の不平等 をなくそう</p> </div> </div>
高水準のガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ●質の高い企業ガバナンス・コンプライアンスの徹底 ●高度な情報セキュリティの実現 	<div style="text-align: center;">  <p>16 平和と公正を すべての人に</p> </div>

①-1環境負荷低減 ～CO2排出量の公表

- 今年度より、当社全拠点および子会社からCO2排出に関するデータを集約し、当社グループとしてのCO2排出量を算出・公表。
- 社員一人当たり約2トンのCO2を排出。サステナビリティ検討チーム(後述)を組成し、環境負荷低減の推進を検討中。

● 当社グループのCO2排出量の推移

単位：t-CO2

	2020年度	2021年度	2022年度	当社の主な排出要素
Scope1 (直接排出)	80.0	78.9	75.0	ガソリンの利用等
Scope2 (間接排出)	3,722.9	3,493.7	3,433.8	オフィスの電気利用等
Scope1+2 計	3,802.9	3,572.6 (△230.3)	3,508.8 (△63.8)	()内は前年比

売上高当たりCO2排出量
(単位：t-CO2/百万円)

	2022年度
当社	0.06
A社	0.05
B社	0.08

(ロケーションベース)

※A社、B社は同業(情報通信)他社
(公表情報から算出した参考値)

①-2環境負荷低減 ～株式関係書類のペーパーレス化

- 株式関係書類に関して、法改正に伴って招集通知を電子化するとともに、「株主のみなさまへ」（株主通信）は当社Webサイトに電子データを掲載。更なる環境負荷の低減を目指す。

電子化による紙の削減実績（単位:千ページ）

	6月	12月
株主総会招集通知	△ 115	
株主のみなさまへ	△ 35	△ 50
合計	△ 201	

(61kgのCO2削減に貢献)



「株主のみなさまへ」web掲載版

②働きやすい職場づくり ～テレワークへの対応

- 当社はコロナ禍で実施したテレワークを継続中。
(現在の出勤率=概ね50%[本社])
- テレワークでの働きやすさを考慮し、以下のツールを導入済み。

□ 決裁ワークフローの導入

- 紙文書での決裁は出社対応が不可欠となるため、決裁者が在宅勤務でも電子データで決裁しスピーディーに業務を遂行。
- 名刺作成や固定資産の登録など、現在、17事項をワークフロー化済みで、引き続き、対象を拡大中。



紙文書に押印・決裁

ワーク
フロー化



PCで電子決裁

□ 一人用打ち合わせブースの導入

在宅勤務社員との社内打合せ、コロナ禍後に急増した社外とのリモート会議等の円滑な実施をサポート
(本社内に10ブース設置)



③人材育成の推進 ～採用人数増加に向けた取り組み

■ 昨今のIT人材不足の波を受け、当社においても、人材確保が重要なテーマになっています。

- 当社の採用数と社員数 (単位；人)

年度	2020	2021	2022
採用数(新卒)	56	48	62
採用数(キャリア)	—	3	10
		社員数	1,501



中期目標
1,600



人材コンサルタントの活用

採用の専門家の目で当社の採用施策を見直し、採用数増に繋げる

ターゲットを絞った採用活動

重点地域(“JFE”が浸透している中国地方等)の大学への訪問強化

広告による知名度の向上

40周年施策(後述)と絡めた新聞・駅広告等

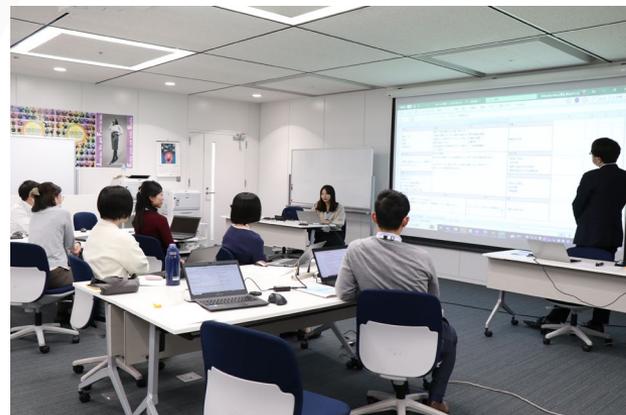
サステナビリティへの取組み ～全般 その1

◆ 社内での活動推進

- ✓ 「当社らしい」サステナビリティ活動に本格的に取り組むために、「**サステナビリティ検討チーム**」を立ち上げ、昨年10月から活動を開始。
サステナビリティ意識が高い**中堅・若手社員を中心としたチーム構成**。
- ✓ 本検討チームの活動を社内広報、社員全体の意識の向上と全社的取り組みを目指す。
- ✓ 本検討チームから、取締役会等へ成案を説明し、個別の提案を審議の上、実施していく方針。



検討メンバー



活動の様子

サステナビリティへの取組み ～全般 その2

◆ 対外的な情報発信

- ✓ 当社コーポレートサイトは(株)ブロードバンドセキュリティ社より以下 2 賞を受賞。
 - ・Gomez ESGサイトランキング2023 優秀企業 (スタンダード市場では当社のみ)
 - ・Gomez IRサイトランキング2023 金賞 (総合19位)

IRサイトランキング(ブロードバンドセキュリティ社公表資料から抜粋)

第1位	コニカミノルタ	9.31点
第2位	伊藤忠商事	9.28点
第3位	ソフトバンク	9.12点
⋮		
第19位	J F E システムズ	8.36点
第21位	三井住友フィナンシャルグループ	8.31点
第22位	I N P E X	8.30点



設立40周年事業

設立40周年 事業概要

■ 以下の40周年記念事業を推進中。

- ①当社の存在意義、価値観などを表す新「企業理念」の制定
- ②新「企業理念」(パーパス*)の浸透・知名度アップのための広報活動
- ③中堅・若手社員を中心とした新技術へのチャレンジ

①新「企業理念」の制定

パーパス（＝存在意義）、バリュー（パーパスの実践に向けて共有する価値観）、行動指針の3要素で構成される企業理念を制定



②広報活動

パーパスの浸透と知名度アップ（ex採用への波及効果）を目的とした広報活動を推進（新聞・駅広告等）



③新技術へのチャレンジ

中堅・若手の社員チームが新技術に関心をもつ社員を募り、生成AIを業務で積極的に活用するための方策を研究中。



*＝企業がなぜ存在するのか、という根源的な問いに答える言葉で、過去・現在・未来を通して変わらない企業固有の判断基準を示すもの

設立40周年 ①新「企業理念」の制定（体系図）



【パーパス】 はたらくをスマートに。
はたらく人にスマイルを。



【バリュー】

- Smart
- Collaborate 「スマートフルIT」
- Empower 実践に向け、共有
- Challenge する5つの価値観
- Speed

【行動指針】 スマートフル IT 実践に向け、「GOOD RELATIONSHIPS」をなにより大切にします。

設立40周年 ①新「企業理念」の制定（制定プロセス）

- パーパス策定主旨の共有・社内外の関係者へのインタビュー実施、社員インタビューおよびワークショップ活動などを経て、2023年5月に完成。

キックオフ
2022年10月

- プロジェクトの主旨とスケジュール共有
- 関係者インタビュー

（ 役員 9名
顧客/パートナー企業 5社
グループ会社 2社 ）

竹田社外取締役
へのインタビュー



社員アンケート① 当社らしさ等を問う21設問に1千人弱(64%)の社員が回答

ワークショップ
活動
2022年11月-

- 若手・中堅社員が参加したワークショップ(写真)では、約半年間の活動を経て、パーパスの言語化や案文の選定等を担いました。



社員アンケート② 4つのパーパス案から、最良の1案を選択

制定
2023年5月

- パーパス はたらくをスマートに。
はたらく人にスマイルを。



設立40周年 ②広報活動

- 40周年を機に、パーパスの浸透と知名度アップ（ex採用への波及効果）を目的とした広報活動を推進中。

- ・ 雑誌広告（2023/9）
- ・ 新聞広告（2023/11 日経・朝日・読売）
- ・ トレインチャンネル（2024/1/15-28）
（首都圏9路線、西日本）
- ・ 駅広告（2024/2～3 当社拠点近隣駅）



トレインチャンネル動画(パーパスムービー)

はたらくをスマートに。
はたらくの人にスマイルを。

企業中心の時代から、人間中心の時代へ。
業務を正確に、効率的にするだけでなく、
はたらく人を夢中に、創造的にしてくれるITが求められている。
私たちは、そんなITを
「スマートフル (Smart+Heartful) IT」と呼んでいます。
JFEシステムズは、ITのプロフェッショナルとして、
人のつながりを大切に、
世の中の「こうなりたい」という想いに向き合い、
スマートフルITの力で「できるんだ!」を広げます。

スマートフルIT
SMART+HEARTFUL

JFE システムズ
JFE

おかげさまで40周年 /
40th
JFEシステムズ

新聞全国版掲載 全面広告

設立40周年 ③新技術へのチャレンジ

- 「自由な発想で新技術に取組みたい」と考える若手社員でチーム構成し、生成AIを活用した業務の生産性向上にチャレンジ中。
- 生成AIの理解、業務への積極的な活用策の研究、経営層への結果報告を予定。
- チャレンジしているテーマ（一例）
 - ・プロンプト・エンジニアリングの研究



4名の社員(写真)の呼びかけを受け、現在は11名の社員が参加しています

目次

1 第3四半期決算・年度見通しの概況 P3

2 当社の事業概要 P9

3 トピックス(サステナビリティ・40周年記念事業) P14

4 株式関連情報 他 P29

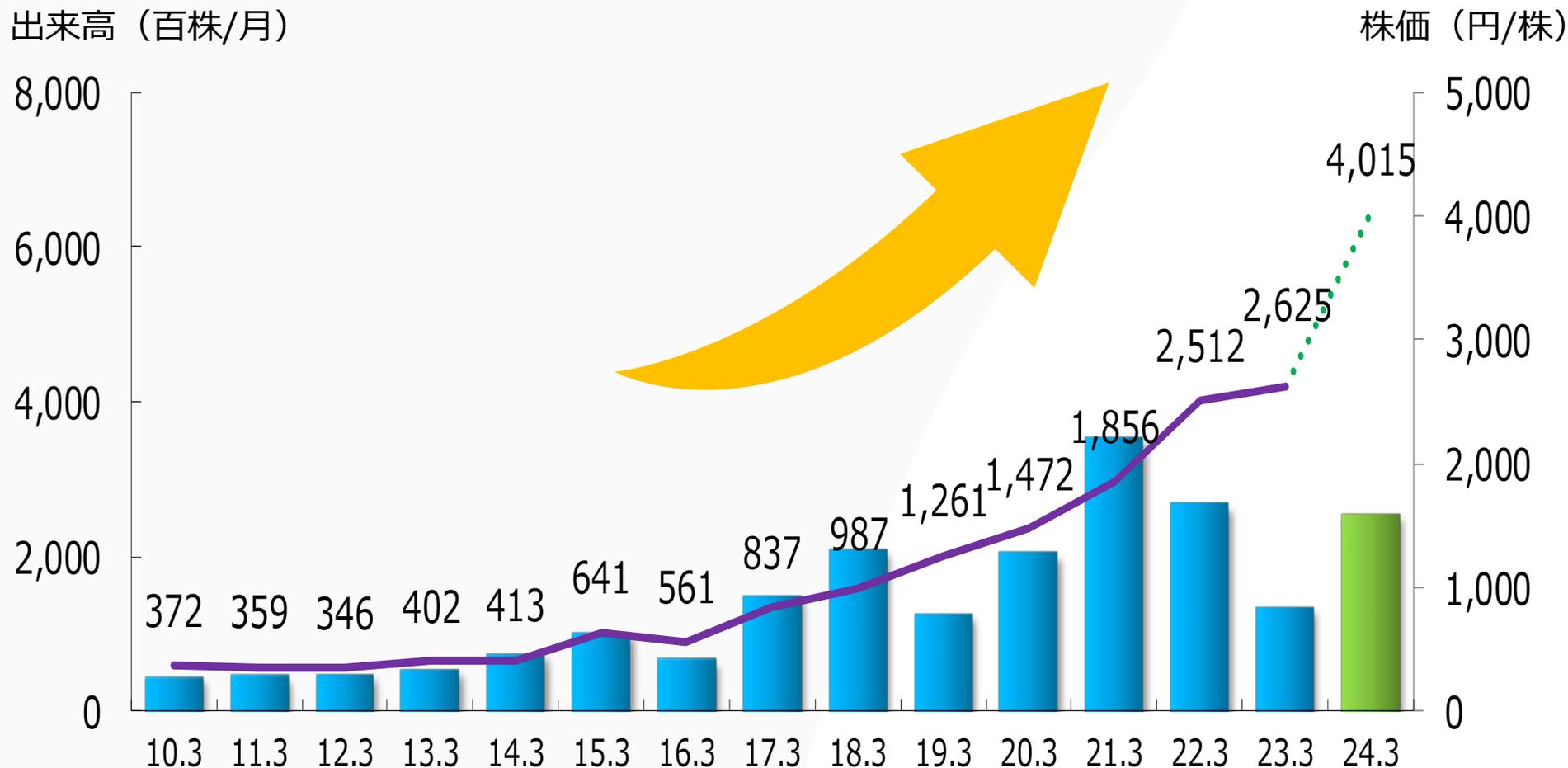
基本情報

発行済株式総数	15,706,000株 (2021年4月1日に1:2の株式分割を実施)
株主数	8,474人(2023年9月末)
大株主	JFEスチール(株) 65.16% JFEシステムズ社員持株会 7.54%
時価総額	631億円
PER	13.33倍
PBR	2.25倍
配当利回り	2.94%

株価 3/6終値 4,015円、配当 118円/株前提にて算出

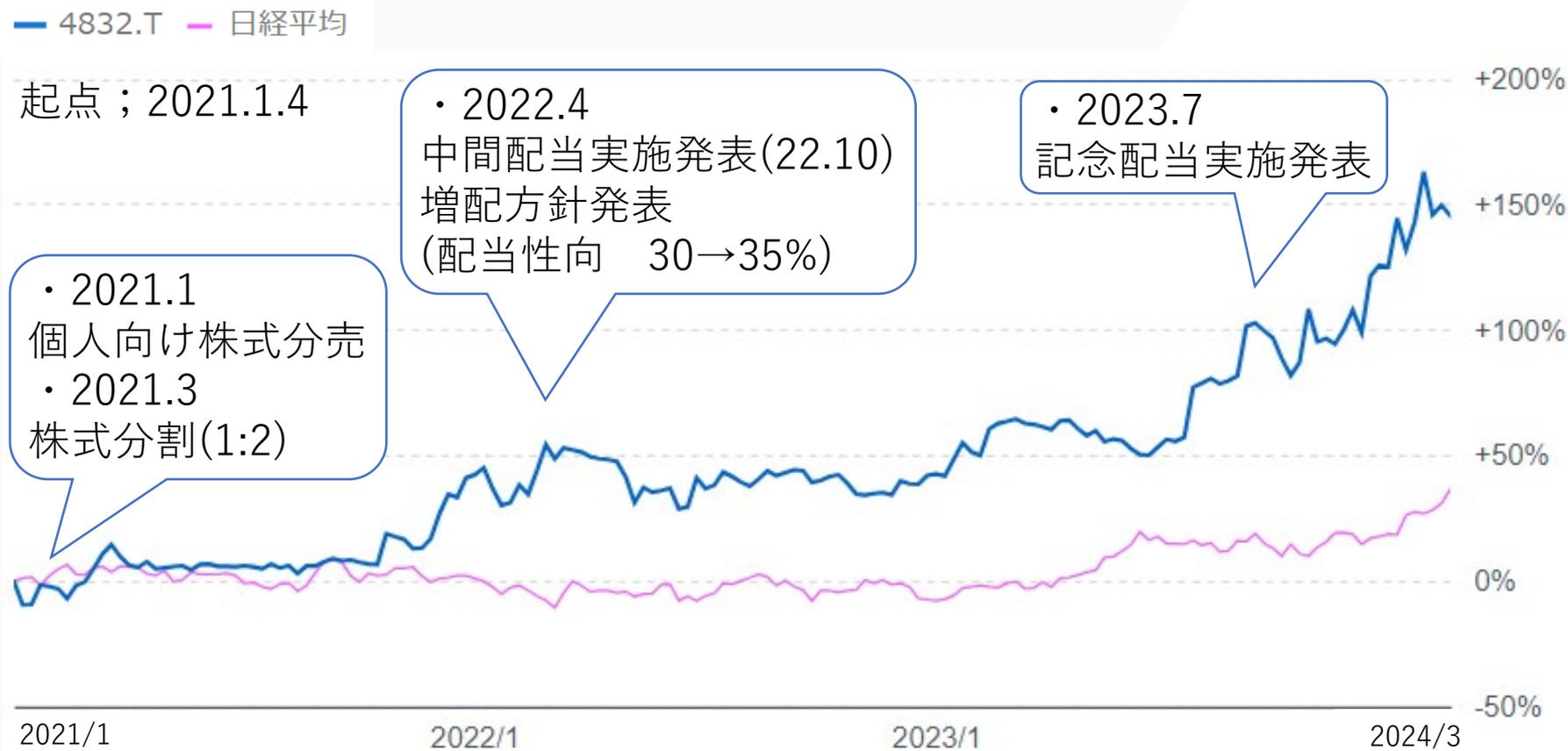
株価・出来高推移

- ◆ 株価はここ5年間で、3倍超の水準に到達。(19.3末 1,261 →24.3.6 4,015円)
- ◆ 出来高は低水準ながらも、近年の株価上昇にあわせて増加基調



直近の株式施策

- 株主数増・流動性向上を目指し、各種施策を推進。
- 2年ほど前からの株価上昇で、日経平均を大きく上回る上昇率に。
(分売時点～現在で、日経平均比で約110%の上昇率)



ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ先

J F E システムズ株式会社 総務部

〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目 2 番 3 号 シーバンスS館

03-5418-2400 (代表)

<https://www.jfe-systems.com/inquiry.html>

(当社ホームページ内の問い合わせフォームから承ります)



JFE システムズ

ご注意 本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。
実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。